

議 事 録

会議名	第2回教育課程編成委員会		提出日	2023年3月15日	
開催日時	2023年3月15日(水)	11:00~12:30	場所	本部館 6F 特別室	
出席者	林学校長、立見学校長代理、瀬尾副校長、新井委員、大嶋委員、猪俣委員、眞庭				
			書記	眞庭	
議 事 内 容					
1. 学校長挨拶					
2. 出席者確認・ご紹介					
3. 議事(報告:瀬尾副校長)					
①今年度の職業実践専門課程実施に係る実習・演習実績報告					
②来年度の職業実践専門課程実施に係る実習・演習予定・計画					
③所感・質疑					
林: 外部の講師の方はプロなので、我々職員が状況を知っていて学生に向けて話すの とその道の方が話してくださるのではやっぱり違いますから、学生も非常に真摯 に話を聞きます。こんな場があるよとかこんな話があるよ、などあれば、我々と しても積極的に取り入れていってもいいのかなと思っておりますので、その辺を 含めながらご意見をいただければと思います。よろしくお願いします。					
立見: 一昨年と比べて講師派遣は制約がなくなってきているが、見学はあまり快く受け 入れてもらえていない状況でした。次年度はこちらからの見学も受け入れていた だけるといいなと思います。					
瀬尾: 例年ですと国内研修旅行は一泊二日で、初日はディズニーランドで楽しく過ごし て、二日目に官公庁を訪問という形でした。今年は2日間、官公庁見学とさせて いただき、中身が充実したものとなりました。					
新井: 初日の海保は第三管区になるのでしょうか、あそこには大きな船もありますし、 すごいですね。翌日は空の話だったんですね。					
林: あとは霞が関に行きました。					
新井: 霞が関はそれぞれを事前に予約をしておいて時間で回るのですか?					
林: そこまではまわってはいませんが、今年は農水省と法務省へ行きました。					

議 事 録

立見：入間基地はすぐ隣に航空レスキューも対応している市民病院があるので、単純に自衛隊の話だけでなく、消防だとか市役所の仕事の延長も見る事が出来ます。

猪俣：コロナによってここ数年、前と変わったカリキュラムや授業の変化があったと思いますが、これからコロナ前と比べて変わってくることは何かありますか。

瀬尾：コロナでデジタル化は進みました。対面での授業がメインですが、もし何かあって対面が無理なときにはリモートや動画を撮って配信するなど柔軟に対応できる形にはなってきたかなと思います。

猪俣：デジタルという部分では、民間企業もかなり変わってきて、営業行為やミーティングなど仕事のやりかたも大きく変わりました。これはコロナがなくなってもずっと続いていくものだと思います。群馬法科としてはデジタル教育というか DX とまではいきませんが、何か意識して社会に出てからすぐに活動できる教育はお考えですか。

瀬尾：今のところのカリキュラムとしてはないですが、求められてくるところではあります。社会情勢を考えると今後はそういった部分も入れていかないと厳しくなっています。具体的にはどんなことをやっていただければいいのでしょうか。

猪俣：官公庁もビジネスのプロセスが変わってきていますから、中央カレッジグループの総合力を生かして社会に出た時にすぐ実務で対応できる基本的な部分を身に付けてもらえるように対応力が高まるのかなと思います。

新井：警察官になる者もスマートフォンは使えるんですけど、パソコンは使えないという者もいる、ですからその辺から教えていかなければならない。合格された方にはその辺も教えて行っていただけるといいと思います。

瀬尾：2年制コースは MOS の資格は勉強しています。1年制も公務員試験が落ち着いたあとにワードとエクセルの基礎は勉強しています。

大嶋：今は新しい仕事に就いたときにデジタルデータで前の担当からの引継ぎになるため、Word、Excel、メールのやりとりは必須で教えていただいた方がいいと思います。議会も紙ではなくタブレットになっているとのことです。

瀬尾：情報を扱う者としての基本を身に付けさせていく必要があるため、情報リテラシーも強化していきたく考えています。

猪俣：航空学生の合格が出たということですが、今、国の防衛力強化もある中で、自衛隊を目指す方やそのご家族の方の考え方に変化はありますか。

議 事 録

瀬尾：本校も自衛隊にかなり合格している者がいますが、今年に限った話ではなく、どうしてもどこかで戦争とかやっていたりすると辞退する者もいます。それは本人意向だけではなく親御さんが心配してというものもあります。

新井：今朝の上毛新聞に「北軽井沢キャンパス化」という記事がでておりましたが、群馬法科さんも関係はあるのですか。

林：北軽井沢の観光支援、自然、農業などいろいろな部分について動物飼育学科とうまく連携できないかということで一年くらい模索してきた。それがやっとな実を結び、お互いの良いところを併せていきたいと思います。学生もホテルに泊まりながら、ホテルや牧場の仕事を学ぶことが出来る。北軽井沢としては、過疎化が進んでいるため、若者に SNS で発信してくれたらいいな、というところです。今はスタート地点に立ったところになるので、これを土台にして、将来的にはグループ全体で関わっていききたいというところです。群馬法科としてもインターンシップ等できたらより幅広い視野がもてるようになったらいいなと思います。

新井：産官学ということで、とても素晴らしいですね。

立見：警察学校の卒業式や入学式はまだ外部の受け入れはしていないのですか。

新井：そうですね、まだ受け入れはしていません。

立見：ニュースで顔見知りや制服を着て、ピシッとしている姿を見るとやる気に満ち溢れている様子が伝わってきます。

新井：制服を着ると誰に対する戒めにもなりますからね。群馬法科を卒業して就職するのが目標ではないので、その先の目標を大きく見据えて頑張っていただければいいと思います。

林：本日は貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

4. その他 次回開催：2023年9月頃予定